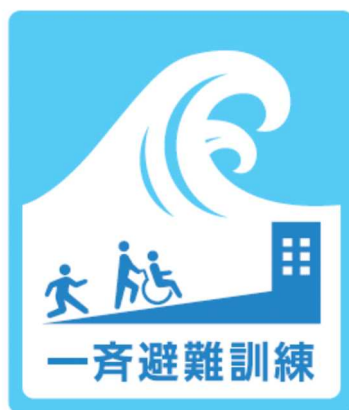


令和元年度

兵庫県南海トラフ地震津波一斉避難訓練

令和元年 11 月 5 日(火)実施

実 施 報 告 書



兵 庫 県

【目次】

○訓練概要	1
○訓練結果	4
○広報状況	9
○アンケート調査	16

訓練概要

1 実施日時

令和元年11月5日（火）

＊「津波防災の日・世界津波の日」（11月5日）関連事業として実施

○午前10時00分：地震発生（屋外スピーカー、防災無線などでお知らせ）

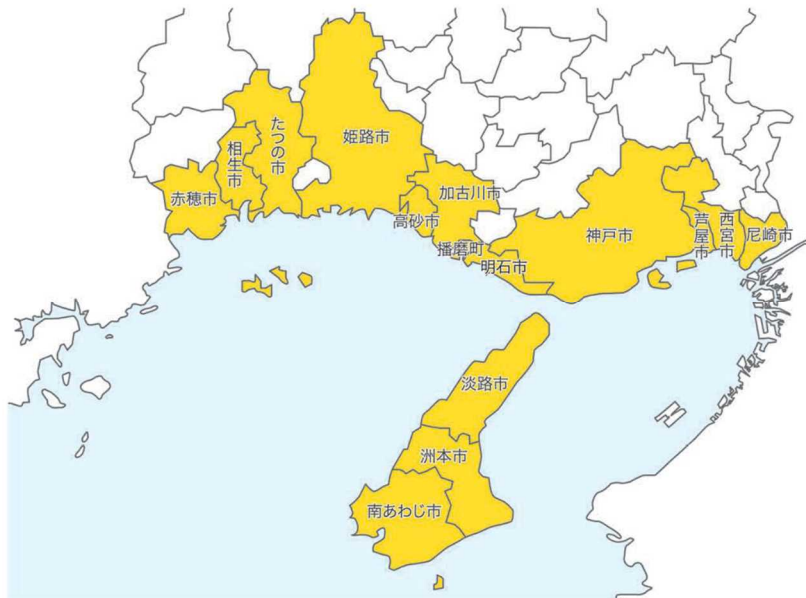
○午前10時02分：大津波警報発表

（緊急速報メール<エリアメール>、Yahoo!防災速報でお知らせ）

○午前10時02分：訓練参加の呼びかけ（ひょうご防災ネットでお知らせ）

2 実施場所

県内南海トラフ地震津波浸水想定区域



対象市町

神戸市、尼崎市
西宮市、芦屋市
明石市、加古川市
高砂市、播磨町
姫路市、相生市
たつの市、赤穂市
洲本市、淡路市
南あわじ市

3 訓練対象人数

約37万人（津波浸水想定区域の昼間人口）

4 訓練の想定

○想定：南海トラフ地震（M9クラス）

＊津波浸水想定：阪神地区、淡路地区（2013年12月24日県公表）

：神戸地区、播磨地区（2014年2月19日県公表）

	赤穂市	相生市	たつの市	姫路市	高砂市	加古川市	播磨町	明石市	神戸市	芦屋市	西宮市	尼崎市	淡路市	洲本市	南あわじ市
最大震度	6弱	6弱	6強	6強	6強	6強	6強	6強	6強	6弱	6弱	6強	6強	7	7
最高水位 (T.P.m)	2.8	2.8	2.3	2.5	2.3	2.2	2.2	2.0	3.9	3.7	3.7	4.0	3.1	5.3	8.1
最高水位の 時間(分後)	555分 (9時間15分)	397分 (6時間37分)	396分 (6時間36分)	129分 (2時間9分)	247分 (4時間7分)	116分 (1時間56分)	116分 (1時間56分)	559分 (9時間19分)	101分 (1時間41分)	123分 (2時間3分)	123分 (2時間2分)	138分 (2時間18分)	73分 (1時間13分)	53分	72分 (1時間12分)
1mの水位上昇 時間(分後)	120	120	120	120	117	113	110	115	83	111	112	117	65	45	44
浸水想定地域 昼間人口(人)	7,607	2,420	2,012	7,920	3,233	547	若干名	688	153,816	6,033	93,910	75,409	2,059	7,621	5,647

5 訓練の特徴

- (1) 企業・学校等が年間スケジュールを立てやすくするため、訓練日を固定化
- (2) 南あわじ市立の小学校においてスピーカー搭載ドローンを活用した避難訓練を実施
- (3) 「ひょうご防災ネット」アプリを活用して緊急情報を配信し、避難行動を誘導

6 訓練方法

訓練参加方法（行動指針）

1 【正確に知る】主体的な避難行動の徹底

以下のことを知ったうえで訓練当日を迎えましょう。

○まずは、身の安全を守りましょう。

（「3つの安全行動」＝「まず低く！、頭を守り！、動かない！」）



○強い揺れや弱くても長い揺れがあった場合には津波の発生があることを考えましょう。

○津波の発生が想起される場合、津波警報等の情報を待たずに自らできうる限り迅速に高い場所への避難を開始しましょう。

○大津波警報を見聞きしたら速やかに避難しましょう。

○海岸保全施設等よりも海側にいる人は、津波注意報でも避難しましょう。

○避難支援者等の負担軽減に繋がることから、津波到達までに時間の余裕があっても、早めに避難行動を開始しましょう。

○津波は繰り返し襲ってくるので、警報・注意報が解除されるまで気をゆるめず、家に戻らないようにしましょう。

2 【実際に動く】地震発生後、速やかに避難するための取組推進

以下のことを意識して訓練に参加しましょう。

○避難誘導や防潮門扉の閉鎖にかかる実際の時間経過を意識しましょう。

○緊急速報メール、ひょうご防災ネット、防災無線、広報車等の伝達広報ツールを幅広く活用しましょう。

3 【自らの安全を伝える】安否確認のためのソフト対策の確認・改善点把握

日々進歩している減災に有効なソフト対策等を実際に試しましょう。

○家族等の安否確認のために津波の危険性がある地域へ戻ったり、その場に留まったりすることを減らすため、災害伝言ダイヤル等（災害伝言板、LINE、Twitter など）を利用し、避難後の家族等の安否確認方法をあらかじめ決め、訓練当日に実際に連絡を行いましょう。

訓練参加方法（行動指針）	
<p>1 正確に知る</p> <p>まずは、身の安全を守りましょう。</p> <p>3つの安全行動 「まず低く！頭を守り！動かない！」 Drop! Cover! Hold On!</p> <p>津波の発生が想起される場合、津波警報等の情報を待たずに自らできうる限り迅速に高い場所への避難を開始しましょう。</p> <p>津波は繰り返し襲ってくるので警報・注意報が解除されるまで気をゆるめず、家に戻らないようにしましょう。</p>	<p>2 実際に動く</p> <p>避難誘導や防潮門扉の閉鎖にかかる実際の時間経過を意識しましょう。緊急速報メール、ひょうご防災ネット、防災無線、広報車等の伝達広報ツールを幅広く活用しましょう。</p>
	<p>3 自らの安全を伝える</p> <p>災害伝言ダイヤル等（災害伝言板、LINE、Twitter など）を利用し避難後の家族等との安否確認方法をあらかじめ決め、訓練当日に実際に連絡を行いましょう。</p>

7 訓練情報

(1) 主な訓練情報発信ツール

- 緊急速報メール<エリアメール> (対応機種のみ) : 携帯電話会社の防災情報サービス
- ひょうご防災ネット (登録者のみ) : 兵庫県の防災情報サービス
- Yahoo!防災速報 (登録者のみ) : ヤフー (株)の防災情報サービス

(2) 発信内容

- 10:00 訓練スタート (防災無線、サイレン等)
- 10:02 緊急速報メール、ひょうご防災ネット発信 (兵庫県から発信)
Yahoo!防災速報 (ヤフー(株)から配信)

題：訓練 DRILL (兵庫県)

「兵庫県南海トラフ地震津波一斉避難訓練」の訓練通報です。

DISASTER DRILL (訓練)。

10時02分に兵庫県瀬戸内海沿岸及び淡路島南部に大津波警報が発表されました。

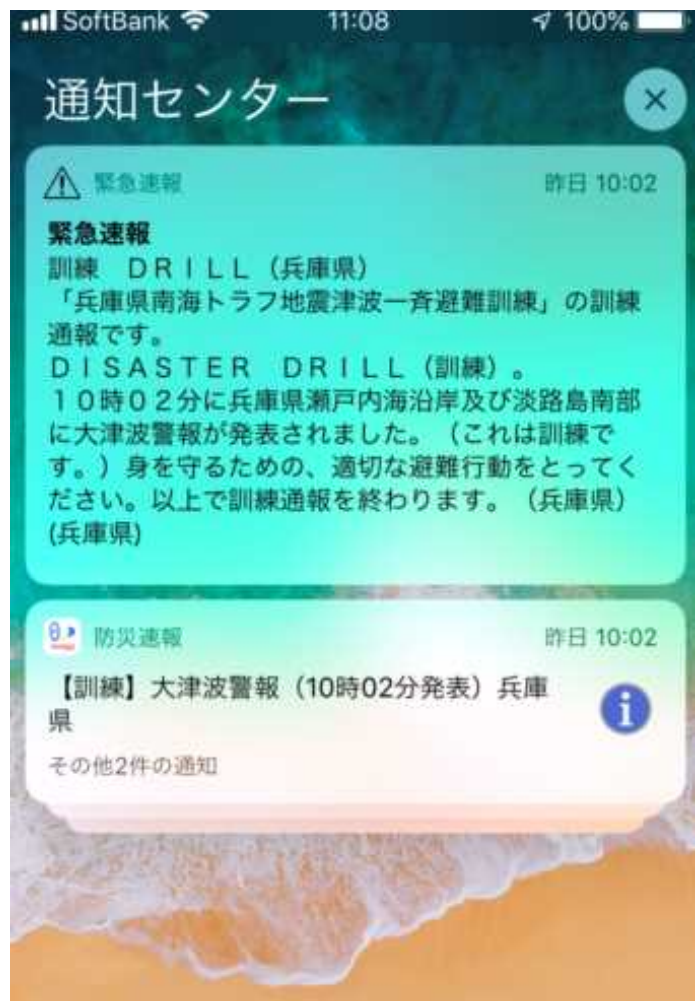
(これは訓練です。) 身を守るための、適切な避難行動をとってください。以上で訓練通報を終わります。(兵庫県)

【上段】

10:02 緊急速報メール (兵庫県発信)

【下段】

10:02 Yahoo!防災速報



訓練結果

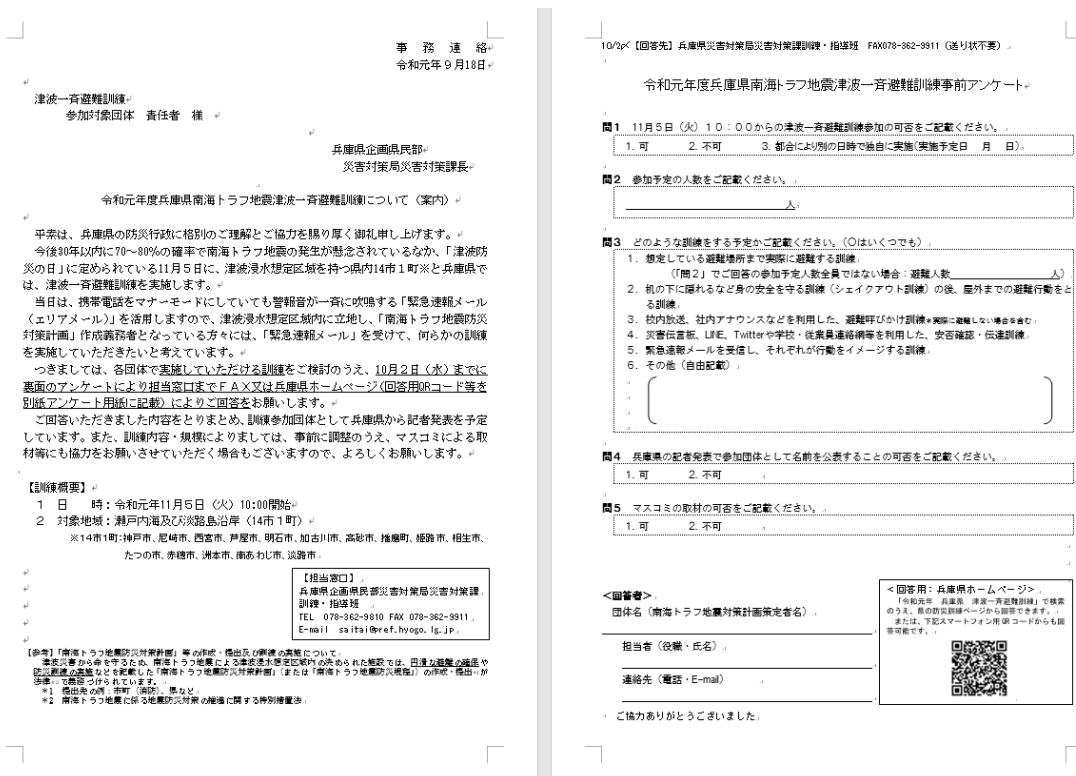
11月5日（火）10時00分に南海トラフ地震発生、10時02分に大津波警報発表という想定で、10時02分に兵庫県から緊急速報メール<エリアメール>を、「地方公共団体が配信する災害・避難情報」として発信し、それを合図に津波避難行動を行う形での訓練を実施した。

また、令和元年5月に運用開始した「ひょうご防災ネット」スマートフォンアプリのプッシュ通知を活用した訓練周知を行うとともに、昨年同様ヤフー(株)と連携し、「Yahoo!防災速報」内の「防災トレーニング」機能を利用した津波避難にかかる事前学習ツールを提供した。

1 訓練実施の事前連絡があった団体数・人数

津波浸水想定区域内に立地し、「南海トラフ地震防災対策計画」作成義務者となっている団体へ郵送にて参加を呼びかけ、事前に参加者を募り、以下の訓練実施団体・人数の回答を得た。

- 小中高大学 27校 18,234人(南あわじ市立松帆小学校 他)
- 幼稚園保育園 21園 2,430人(幼保連携型認定こども園 近田幼稚園 他)
- 社会福祉施設 23施設 1,012人(社会福祉法人豊中福祉会ローズガーデン甲子園他)
- 企業 104社 26,289人
- その他 87施設 32,529人(官公署、消防団、寺社、児童館 他)
- 合計 262施設 80,494人(平成30年度 235施設 77,806人)



[訓練参加依頼文書・事前アンケート]

2 主な避難訓練

(1) 南あわじ市立松帆小学校

所在地：南あわじ市松帆江尻 594

参加人数：小学校生徒・教員、近隣こども園園児 約 350 人

訓練内容：シェイクアウト・浸水想定区域外へ水平避難・ドローンによる避難広報



(2) 学校法人近田幼稚園

所在地：神戸市長田区駒栄町 4 丁目 1-11

参加人数：幼稚園園児・職員 約 400 人

避難行動：シェイクアウト・避難場所（水笠通公園）へ水平避難



(3) 社会福祉法人豊中福祉会ローズガーデン甲子園

所在地：西宮市甲子園九番町 10-50

参加人数：職員・ケアハウス入所者 約 30 人

避難行動：シェイクアウト・車椅子の階段垂直避難



3 「Yahoo!防災速報」内の「防災トレーニング」による学習

地震・津波が発生した際に「どのような行動をとるべきか」、「地震・津波の避難場所はどこか」を知り、その知識の定着を図るとともに、特に一斉避難訓練日に、仕事の都合等により避難場所への避難行動ができない場合でも、自らの避難先や避難経路等のイメージを持ってもらうことが可能となる事前学習ツールをヤフー(株)が本訓練と連携してスマホアプリ上に提供した。(令和元年10月28日(月)～11月11日(月))

○ 構成内容

①訓練プッシュ通知	②とるべき行動	③避難先の選択	④避難場所の確認
<p>大津波警報の詳細を表示し、画面下部で「防災トレーニング」に誘導する。</p>	<p>現在地を「屋外」、「屋内」から選択すると、それぞれに応じたとるべき行動が表示される。</p>	<p>津波からの避難に適すると思う避難先を選択すると、正否判定とともに解説が表示される。</p>	<p>③で、正否どちらの回答でも、現在地付近の津波にかかる避難場所マップを確認できる。</p>
			

【訓練実施の事前連絡があった主な団体】

* 訓練参加について公表の承諾があった団体のみ記載（順不同）

（神戸市）

介護老人保健施設アネシス魚崎、神戸運輸監理部魚崎庁舎、海上自衛隊阪神基地隊、兵庫医療大学、一般社団法人日本船舶職員養成協会近畿、甲南ユーティリティ株式会社、ポートアイランドビル、株式会社Jーオイルミルズ神戸工場、株式会社ラジオ関西、デュオこうべ浜の手、アグロガーデン、神戸市総合教育センター、神戸市水上消防署、ホテルクラウンパレス神戸、株式会社神戸新聞、楽天ヴィッセル神戸株式会社、寄神建設株式会社、大慈ひょうご幼保連携型認定こども園、神戸市立和田岬小学校、特別養護老人ホーム花みさきⅡ、ロングライフ・クイーンズ塩屋、神戸税関本関、神戸市立環境局事業部苅藻島クリーンセンター、阪神高速道路株式会社管理本部、神戸学院大学ポートアイランドキャンパス、国土交通省近畿地方整備局神戸港湾事務所、ホテルパールシティ神戸、美樹工業株式会社神戸支店、川西倉庫株式会社阪神支店、一般社団法人日本海事検定協会、デザインクリエイティブセンター神戸、新元町ビル、株式会社シャルレ、住井運輸株式会社、フィッシュダンス音楽練習場コラボラボ、一般社団法人全日検神戸支部、株式会社神戸酒心館、株式会社あらたかARC東神戸、一般財団法人神戸港湾福利厚生協会、神戸市立灘児童館、兵庫県信用保証協会、神戸こども初期急病センター、ファミリーマートピア六甲店、松岡不動産株式会社、社会福祉法人木の芽福祉会御影倶楽部、創価学会兵庫池田文化会館、株式会社ジェム、兵庫県こころのケアセンター、神戸市立博物館、関西電力兵庫支社、大丸神戸店、阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」、八重洲興産株式会社神戸営業所、大樹生命神戸支店、神戸市役所、塩田不動産株式会社、岩谷化学工業株式会社、日本銀行神戸支店、オルタンシアインターナショナル株式会社、大一産業株式会社、デュオこうべ山の手、モーツァルトいのり、社会福祉法人豊益会神戸ゆたか園、学校法人幼保連携型認定こども園近田幼稚園、有限会社神戸ユース・ゲスト・ハウス、舞子東海浜緑地（アジュール舞子）管理事務所、ミズノスポーツプラザ神戸和田岬、三井不動産商業マネジメント株式会社 三井アウトレットパークマリニピア神戸、創価学会垂水文化会館、シンコーケミカル・ターミナル株式会社、県立東灘高等学校、神戸元町商店街連合会

（尼崎市）

甘露寺、貴布禰神社、尼崎信用金庫本店、株式会社香山組、株式会社三和書房、株式会社りそな銀行尼崎支店、尼崎市立文化財収蔵庫、長洲温泉、メック株式会社、株式会社阪神ライディングスクール、尼崎市立クリーンセンター第2工場、公益社団法人尼崎市シルバー人材センター、兵庫県阪神南県民センター、桂クリニック、近畿システム管理株式会社、北竹谷社会福祉連絡協議会、尼崎市認可地縁団体大物町会、株式会社関電アメニックス尼崎テクノランド事業部、医療法人中馬医療財団中馬病院、尼崎の森中央緑地管理事務所、尼崎イスティー管理組合、尼崎市立成徳小学校、

株式会社近鉄・都ホテルズ 都ホテル尼崎、兵庫県武庫川下流浄化センター、にしむら胃腸科外科医院、富士フィルム和光純薬株式会社大阪工場、プラネット東難波、小厚化成株式会社、認定こども園くいせようちえん、NPO 法人関西障害者国際交流協会、グループホームサンプラザやすらぎ、津田金属熱煉工業株式会社、尼崎市立杭瀬小学校

(西宮市)

生活協同組合コープこうべ（コープ西宮南、コープマリナ、コープ香櫨園）、医療法人明和病院、西宮市立鳴尾公民館、日新信用金庫西宮今津支店、株式会社貢喜、布谷整形外科病院、西宮市鳴尾消防署、西宮市環境局環境事業部美化第2課、医療法人社団西宮回生病院、西宮市教育文化センター、創価学会西宮平和講堂事務所、今津南デイサービスセンター、高須デイサービスセンター、西宮市立鳴尾東幼稚園、西宮市立南甲子園幼稚園、学校法人浜甲子園健康幼稚園、学校法人武庫川学院、西宮市立鳴尾東小学校、県立西宮南高等学校、県立西宮今津高等学校、西宮夢保育園、学校法人辰馬育英会甲陽学院中学校、西宮市立浜脇小学校、武庫川女子大学附属保育園、神港園レインボー西宮、第2シルバーコースト甲子園、ワークメイト西宮聖徳園、社会福祉法人豊中福祉会ローズガーデン甲子園、ワークメイト西宮、日本山村硝子株式会社、宗教法人観音寺花園幼稚園、いちにわたけのこ会ゆめっこ保育園、西宮市立用海幼稚園、チェリッシュホームあじさいコート、ベルテールマンション、西宮市立用海小学校

(芦屋市)

生活協同組合コープこうべ（コープ打出浜、コープ浜芦屋）、木口記念会館・芦屋市保健福祉センター

(高砂市)

エム・エム・エス高砂油槽所株式会社

(姫路市)

専徳寺保育園、医療法人社団仁和会神野病院

(相生市)

相生市文化会館、相生税務署、株式会社 I H I 相生事業所

(洲本市)

川傍町町内会集会所、株式会社ホテルニューアワジ、洲本市役所、洲本市立由良中学校、洲本市由良交流センターエトワール生石、兵庫県洲本総合庁舎、洲本市立洲本第二小学校

(南あわじ市)

福良港津波防災ステーション、南あわじ市立松帆小学校、南あわじ市立沼島中学校、ぬしま保育園、養護老人ホームさくら苑、社会福祉法人みかり会幼老複合型ういず

広報状況

神戸市出身の宝塚歌劇団 芹香 斗亜さんにイメージキャラクターのご協力をいただき、ポスター等を作成し各所に掲示するとともに、平成28年度に作成した尼崎市出身女性デュオの「あまゆうず」さんによる歌「走れタカダイ」を引き続き訓練テーマソングとして活用し、県庁舎内で放送するなど、訓練実施について周知を図る活動を行った。

あわせて、県及び市町にて活用可能なツール（ホームページ、広報誌、ツイッター等）を最大限に活用し広く住民に周知するとともに、昨年同様訓練情報発信ツールとして活用した「Yahoo!防災速報」のプッシュ通知や、令和元年5月に運用開始した「ひょうご防災ネット」スマートフォンアプリのプッシュ通知を活用し、各登録者へ周知した。

また、特に「南海トラフ地震に係る地域防災対策の推進に関する特別措置法」による津波浸水想定区域内の決められた施設に対しては、個別にチラシ等を郵送するとともに、事前アンケートを行った。

1 広報ツール

- (1) ポスター A1サイズ700枚、B2サイズ300枚、A3サイズ1,500枚
*主に駅や行政機関掲示用
- (2) チラシ A4サイズ40,000部
- (3) 広報カード 名刺大 70,000部 *県立高等学校、特別支援学校へ配布



[ポスター]



[チラシ]

[広報カード]

「ひょうご防災ネット」スマホアプリも連携！

南海トラフ地震 津波一斉避難訓練

2019年
11月5日(火)
10:00 開始

舞台も防災も
リハーサルが大切です。

マナーモードにしても携帯電話が一斉に鳴ります

対象地域では、当日10:05過ぎに、避難を呼びかける緊急通報メール（エリアメール）が、携帯電話に届きます。（エリアメールはMMSでの送付となります。）

対象地域
神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、明石市、姫路市、播磨町、加西市、三木市、赤松市、養父市、淡路市、南あわじ市

地震・津波にそなえよう

兵庫県

1.【知る】

○地震からの身の安全の守り方を知ろう！
「3つの安全行動」＝「まず低く！、頭を守り！、動かない！」

※ShakeOut 従事会提供

○津波で気をつけることを知ろう！
・津波は繰り返しやってくる。安全になるまで、避難。
・長時間の怪れは津波のサイン。すぐに高い場所へ避難開始。

○津波がどこまで来るか知ろう！
・津波浸水想定区域を知る「CGハザードマップ」→

○自分が避難するところを知ろう！
・各市町の作っているハザードマップで確認。→

2.【動く】

○「緊急速報メール」を受信してみよう！

○「ひょうご防災ネット」で情報を受信してみよう！
・災害情報等を受け取る「ひょうご防災ネット」→

○津波からの避難にかかる時間を意識して、動いてみよう！
・南海トラフ地震の場合、南あわじ市は約40分で来襲、神戸市はおよそ80分、阪神・播磨地域はおよそ110分→

3.【伝える】

○家族などと連絡先をあらかじめ決め、当日連絡してみよう！

南海トラフ地震津波一斉避難訓練の詳細→

「ひょうご防災ネット」スマホアプリのダウンロード

Android iOS

(4) テーマソング CD

「走れタカダイ～津波避難のうた～」

- 作詞 兵庫県災害対策課
- 作曲 山本茂之
(はばタンカーニバル作詞作曲者)
- 編曲 品川明子・あまゆうず
- 歌 あまゆうず



君と僕の 大事な命
守ろう 守ろう 津波から
命を守る 安全な場所
みんなが助かる 安全な場所

目指せ！タカダイ！走れ！タカダイ！
避難所へ行こう いちもくさん
目指せ！タカダイ！走れ！タカダイ！
大きな波から 命を守ろう

家族 友達 大事な命
逃げよう 逃げよう 冷静に
家族を守る 安全な場所
みんなが助かる 安全な場所

目指せ！タカダイ！走れ！タカダイ！
約束の場所へ いちもくさん
目指せ！タカダイ！走れ！タカダイ！
みんなの力で 命を守ろう

目指せ！タカダイ！走れ！タカダイ！
避難所へ行こう いちもくさん
目指せ！タカダイ！走れ！タカダイ！
大きな波から 命を守ろう

手を取り 声掛け 命を守ろう

2 主なポスター等配布・依頼先（主に訓練対象市町 14市1町 内）

(1)官公庁

市町庁舎、県民局庁舎、警察署、免許更新センター

(2)鉄道事業者

JR 西日本、阪神電車、阪急電車、山陽電車、神戸電鉄、北神急行、神戸市営地下鉄、神戸新交通



[JR朝霧駅]



[神戸市営地下鉄県庁前駅]

(3)学校

公立・私立高等学校、特別支援学校

(4)店舗

郵便局、映画館 他



[OS シネマズ ミント神戸]



[神戸元町商店街]

(5)団体

兵庫県歯科医師会、兵庫県バス協会、兵庫県タクシー協会、兵庫県警備業協会、兵庫県理容生活衛生同業組合、兵庫県美容業生活衛生同業組合、兵庫県遊技業協会、神戸元町商店街連合会 他

(6)事業所

病院、神戸空港ターミナル(株)、(株)OM こうべ（神戸－関西空ベイシャトル） 他

3 ラジオ放送

- 防災ホットライン (10月17日 12:09~12:12 ラジオ関西)
- 寺谷一紀のまいど!まいど!「防災マッカセナサイ!」
(10月25日、11月1日 8:24~8:27 ラジオ関西)
- 兵庫県からのお知らせ (11月5日 7:07~7:09 ラジオ関西)

4 兵庫県広報

(1) 知事定例記者会見

- 9月9日 訓練実施概要発表、10月21日 訓練実施詳細発表

(2) 県ホームページバナー (10月28日~11月4日)



(3) 県広報誌

- 県民だよりひょうご (11月号)

11月5日は 津波襲来を想定した 行動を

近い将来に発生するといわれる南海トラフ地震に備え、津波襲来を想定した避難訓練を実施します。対象地域では当日10時過ぎに避難を呼び掛ける緊急速報メール(エリアメール)がスマートフォン、携帯電話に届きます。各自で実際に避難経路を歩く、家族と連絡を取り合うなどの訓練に取り組みましょう。(県災害対策課)

対象地域

神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、明石市、加古川市、高砂市、播磨町、姫路市、相生市、たつの市、赤穂市、洲本市、淡路市、南あわじ市

南海トラフ地震津波一斉避難訓練

11月5日(火)10時~

◎県災害対策課

☎078(362)9810

☎078(362)9911

詳しくはこちら



(4)ひょうご防災ネット（兵庫県緊急情報登録者向け）

○事前広報【11月1日（金）16:30】

題：11月5日津波一斉避難訓練実施

兵庫県では、11月5日の午前10時から、淡路島及び瀬戸内海沿岸15市町で、南海トラフ地震を想定した「津波一斉避難訓練」を実施します。

訓練地域内で、緊急速報メールに対応している携帯電話をお持ちの方に対し、マナーモードであっても警報音が鳴り、避難を呼びかけるメールを送ります。

まだ訓練をご存じでない周りの方々へ是非、お知らせください。

避難先をイメージすることも訓練の1つです。訓練の前に、いざというときに速やかに避難行動がとれるように、「ひょうご防災ネット」スマホアプリから「マイ避難カード」を作成してみましょう。

また、南海トラフ地震によって津波が発生した場合の浸水範囲や深さを「兵庫県CGハザードマップ」で確認できます。今いる場所の津波ハザードマップもご覧いただけますので、確認してみてください。（「ひょうご防災ネット」スマホアプリの「防災関連情報リンク」からアクセスできます。）

詳しくは県ホームページをご覧ください。

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/kk42/r1tunamikunnrenn.html>

○訓練当日【11月5日（火）10:02】

題：11月5日津波一斉避難訓練実施

11月5日は津波防災の日です。

兵庫県では14市1町と合同して南海トラフ巨大地震を想定した、一斉避難訓練を実施します。訓練に参加していただくとともに災害時の避難行動などを改めて確認してください。ご協力をお願いします。

(5)LINE

○11月1日 はばタン (兵庫県広報戦略課)



(6)ツイッター

○10月23日 兵庫県広報戦略課



5 その他広報

(1) 駅舎・車内等放送

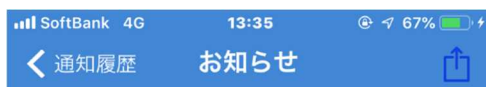
J R 西日本 他（主に1週間前～当日）

【放送文例】

兵庫県では、11月5日の午前10時から、淡路島及び瀬戸内海沿岸15市町で、南海トラフ地震を想定した「津波一斉避難訓練」を実施します。

午前10時02分過ぎに、緊急速報メールに対応している携帯電話をお持ちの方に対し、マナーモードであっても警報音が鳴動し、避難を呼びかけるメールが届きます。以上、防災訓練に関する兵庫県からのお知らせでした。

(2) Yahoo!防災速報（11月1日）



【お知らせ】 11月5日に「兵庫県南海トラフ地震津波一斉避難訓練」を実施します
11月1日 12:05更新

11月5日の津波防災の日に、兵庫県で南海トラフ巨大地震を想定した避難訓練が行われます。

ヤフー防災速報でも、当日の10:02に訓練のプッシュ通知を配信いたします。それに先がけ、地震・津波発生時にどう行動するかを学ぶ「防災トレーニング その時、どう動く？」を公開中です。

いざという時に自分の身を守るためには、どのような行動が必要かをあらかじめ確認しておきましょう。

※訓練通知の際には、「訓練通知」といった表記を行い、実際には地震や津波などが起きていないことが分かるよう配慮いたします。

アンケート調査

兵庫県では、11月5日(火)の訓練を受けて、今後の訓練実施等の参考とするため、以下の2つのアンケートを実施した。

1 津波一斉避難訓練アンケート集計結果(往復はがき)

- 集計方法：津波浸水想定区域内に立地し、「南海トラフ地震防災対策計画」作成義務者となっている学校・企業等に訓練事前アンケートを送付し、返信のあった団体（373団体）に対して、アンケートを送付
- 送付日：令和元年11月15日（金）

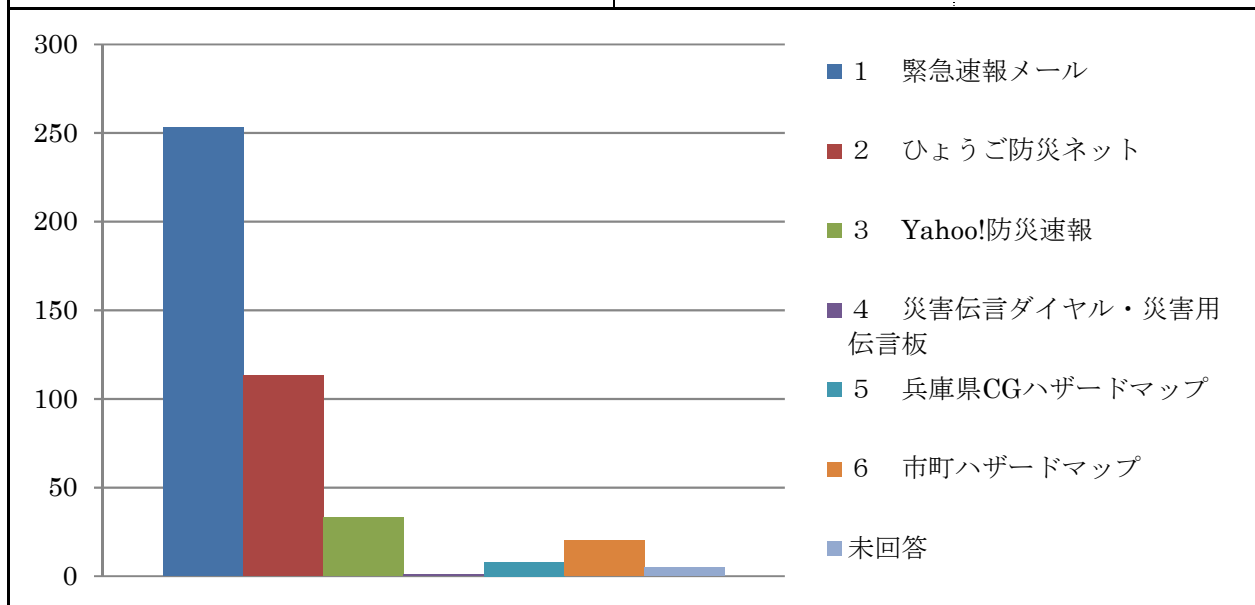
(1) 回答件数

270件（返送率：72.4%）

(2) 回答内容

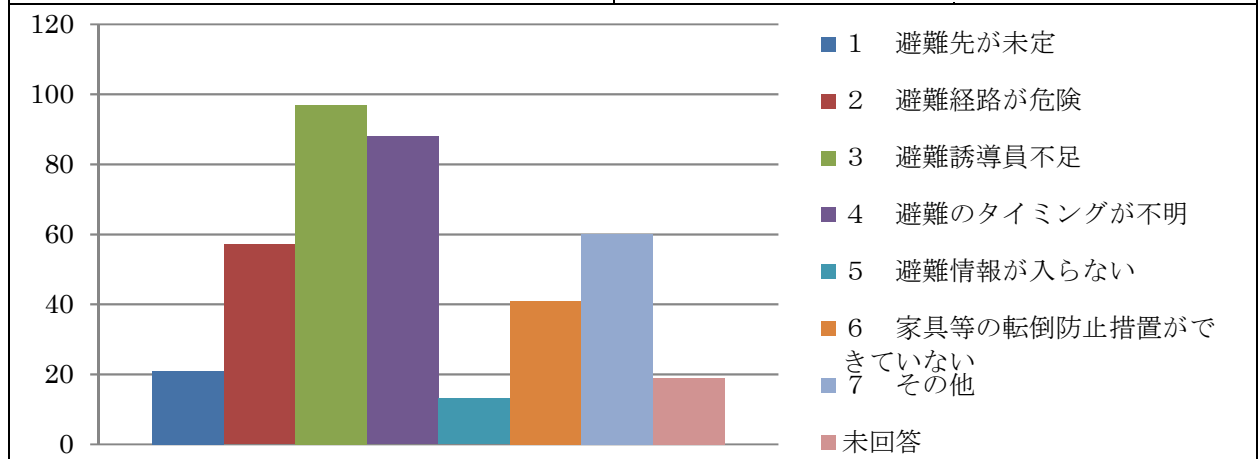
【問1】11月5日には、スマートフォンなどの携帯端末を利用して以下の防災情報の提供を行いました。実際に体験（受信含む）したものを教えてください。
（複数回答可）

1 緊急速報メール	253件	93.7%
2 ひょうご防災ネット	113件	41.9%
3 Yahoo!防災速報	33件	12.2%
4 災害伝言ダイヤル・災害用伝言板	1件	0.4%
5 兵庫県CGハザードマップ	8件	3.0%
6 市町ハザードマップ	20件	7.4%
未回答	5件	1.9%

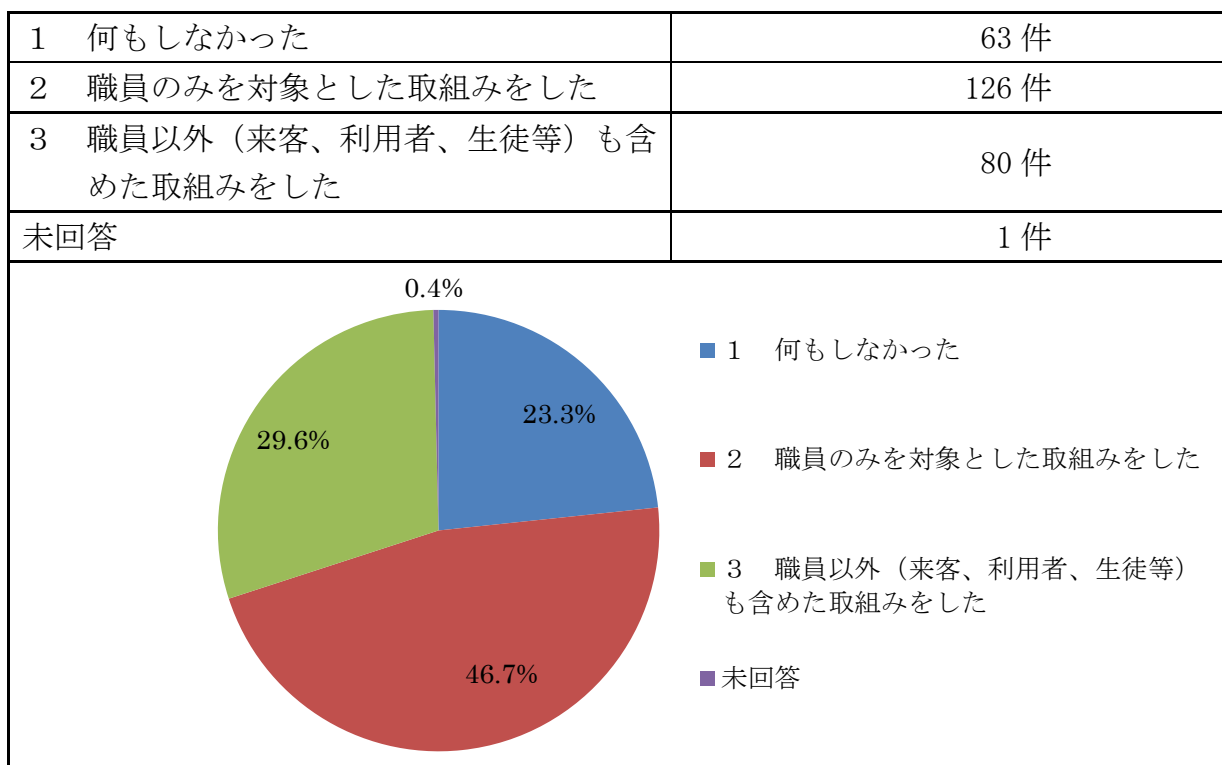


【問2】貴団体で、感じている南海トラフ地震発生時の課題を教えてください。
(複数回答可)

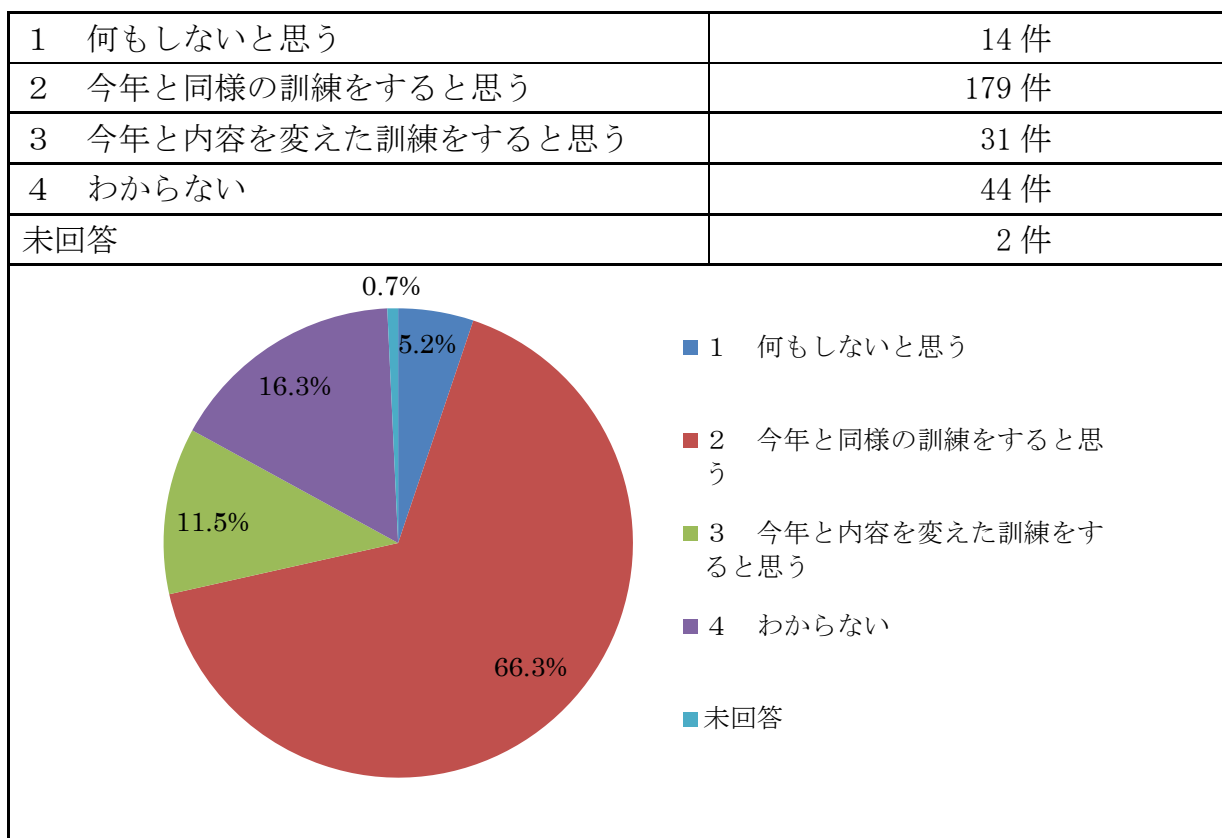
1	避難先が未定	21件	7.8%
2	避難経路が危険	57件	21.1%
3	避難誘導員不足	97件	35.9%
4	避難のタイミングが不明	88件	32.6%
5	避難情報が入らない	13件	4.8%
6	家具等の転倒防止措置ができていない	41件	15.2%
7	その他	60件	22.2%
		水平避難するには立地に不安がある 液状化・混雑など道路状況が予測困難 いざというときに果たして冷静になれるか 多数の来館者がいる場合、出務の職員で無事に誘導できるか 地域に放送が流れるが、聞き取りにくい 一時参集場合の代替拠点機能が不十分 業務継続 (BCP) について 利用者が知的障害なので、本当に災害が起こった時にどうなるのかが予測できない 夜間に発生した場合、人員不足が懸念 安否確認の不明者への対応について明確な手順・判断が決まっていない 幼稚園で訓練は定期的に行っているが、平日昼間に地域・学校・住民との訓練はない 平日昼間を想定した訓練しかしていないので、夜間や休日等の想定も訓練が必要だが、色々なパターンのマニュアルが作られていない 保護者の引き渡しがスムーズにいくか 旅先で地理が分からない所でお客様が避難誘導員に付いて来てくれるか不明 漁船の避難判断について沖へ出すのか、漁港内に留めるのか判断が難しい	
未回答		19件	7.0%



【問3】貴団体で、何らかの防災の取組みをしましたか。

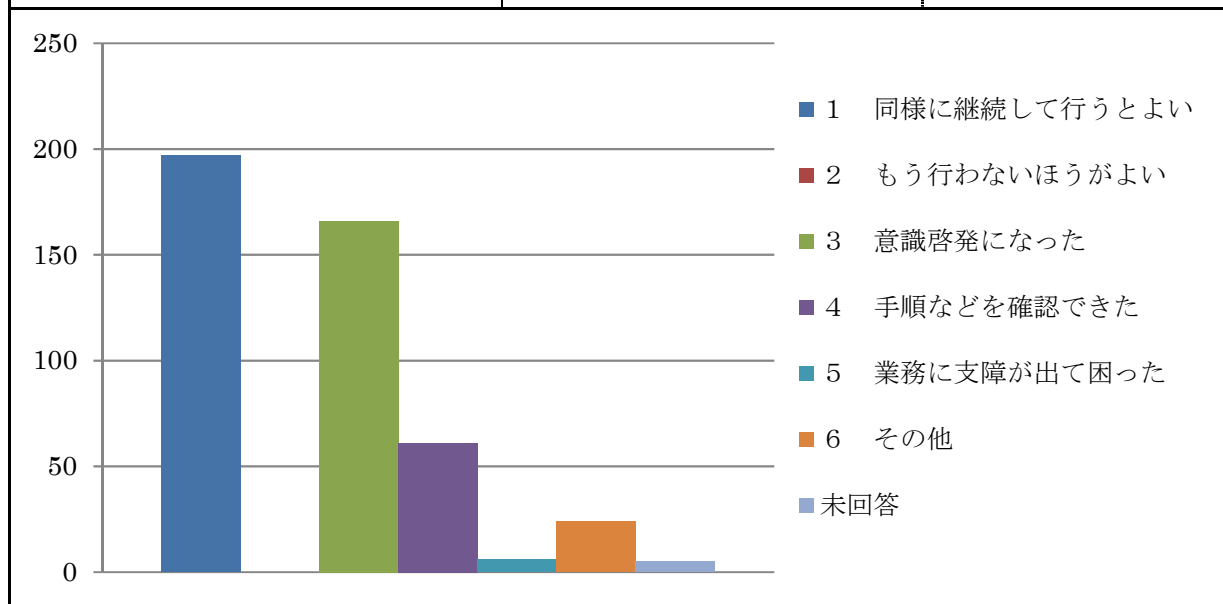


【問4】来年も同様の一斉訓練があれば、貴団体では何らかの取り組みをされると思いますか。



【問5】 今回の一斉訓練へのご意見を教えてください。(複数回答可)

1	同様に継続して行うとよい	197件	73.0%
2	もう行わないほうがよい	0件	0.0%
3	意識啓発になった	166件	61.5%
4	手順などを確認できた	61件	22.6%
5	業務に支障が出て困った	6件	2.2%
6	その他	24件	8.9%
	やることに意義がある		
	災害への認識を深めるよい機会だと思う		
	他の日程で訓練実施予定のため参加できなかったが、次年度は参加できるよう調整する		
	当日最寄りの小学校に避難したが誰も居なかったもって地域・学校・企業巻き込んだ方がいいのでは。現状では情報発信だけではないか		
	計画・結果とももっと広報すべき		
	メール配信だけでなく、各団体の代表を集めての訓練やセミナーなど具体的な訓練もいいと思う		
	津波の訓練もとても重要だが、ここ最近は台風による災害が頻発するようになり、風水害の防災や避難訓練、マニュアル作りにも早急に取り組まないといけないと感じている		
行うことは良いことだと思うが、市町が実施する日とは別日になっているので県下一斉の方がよりリアリティがあつて良いのでは			
当日は県からの配布を供覧しており、啓発するとともに職員の行動も再認識できた			
未回答		5件	1.9%



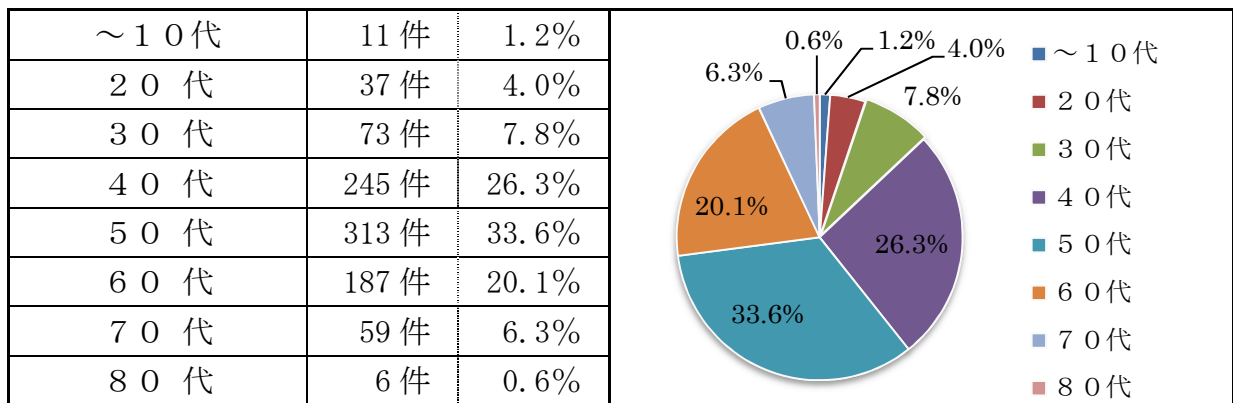
2 津波一斉避難訓練アンケート集計結果(県簡易申請システム)

- 実施期間：令和元年11月13日(水)～11月29日(金)
 ○集計方法：県ひょうご防災ネット登録者に訓練アンケートを配信

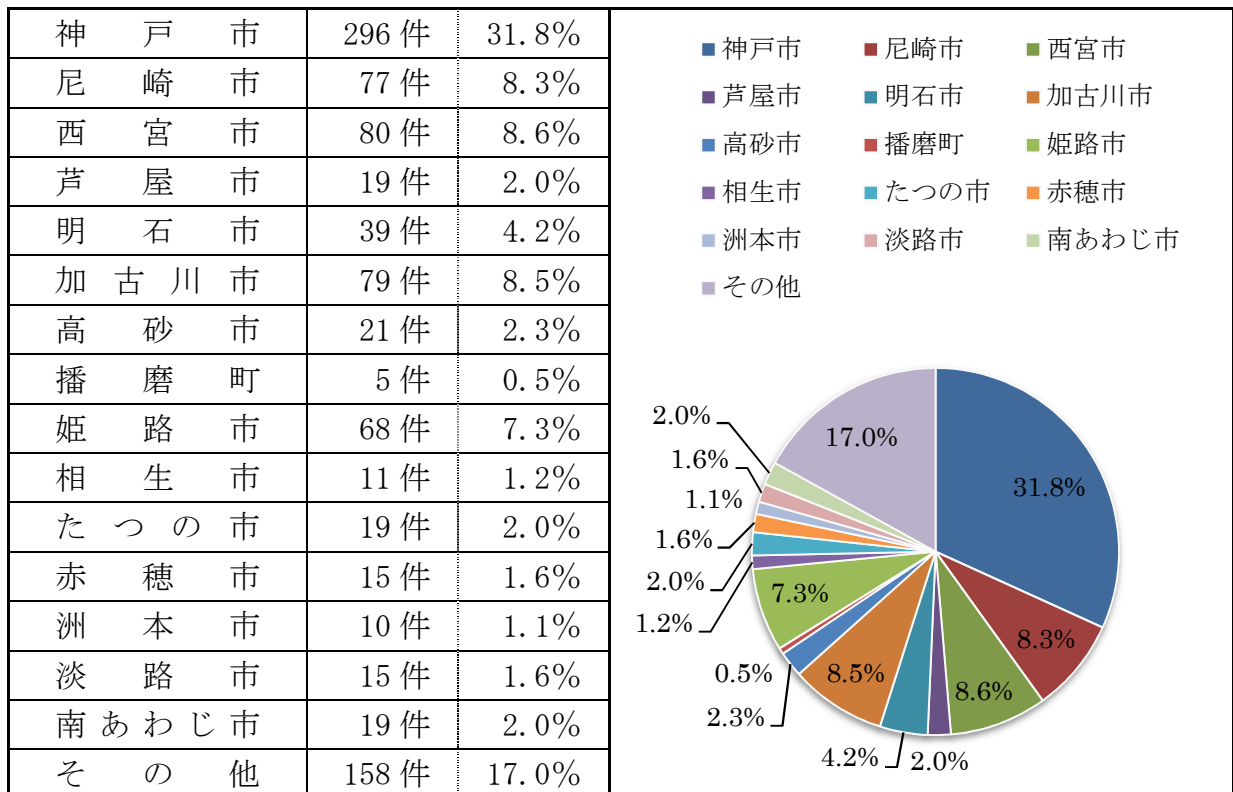
(1) 回答件数

931件

(2) 年代

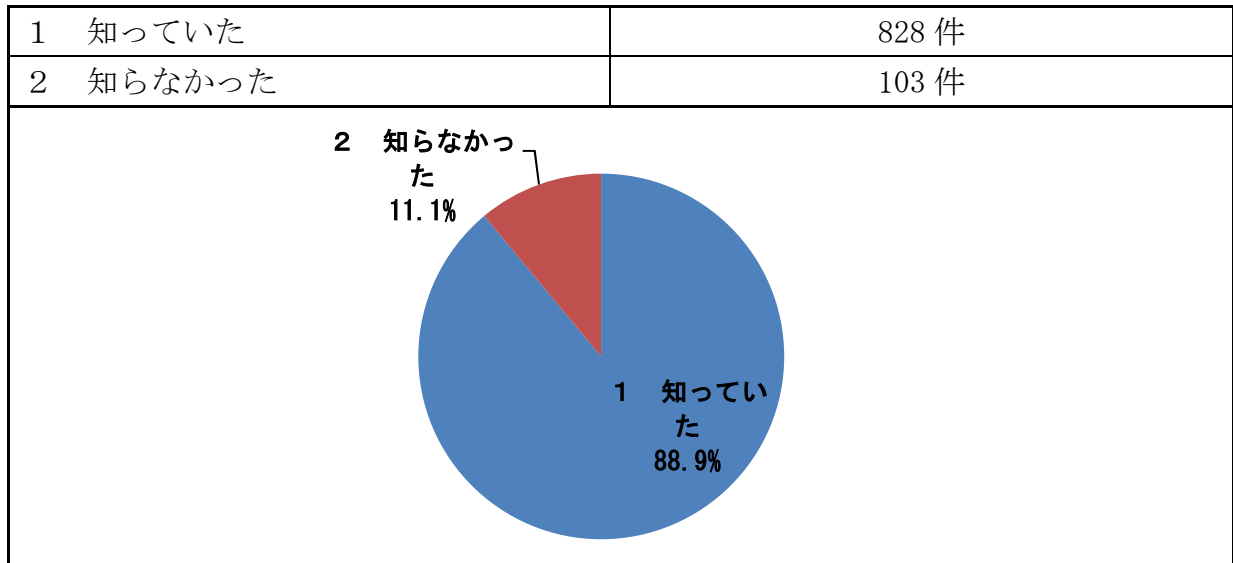


(3) 市町内訳



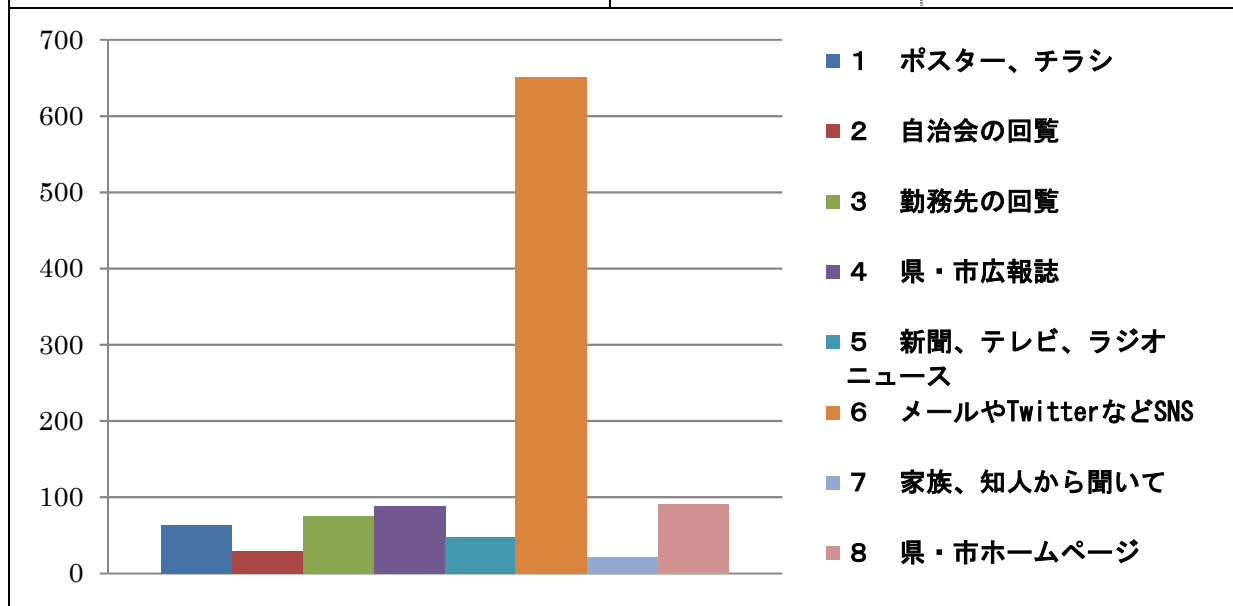
(4) 回答内容

【問1】 11月5日に標記訓練が実施されることを事前に知っていましたか。



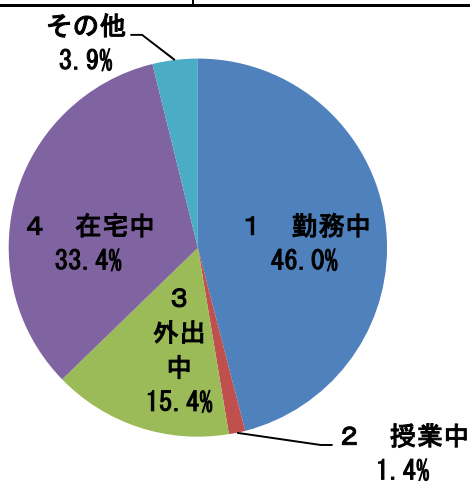
【問2】 (問1で1と答えた方)11月5日の訓練のことを、どのように知りましたか。当
てはまるものをお答えください。(複数選択可)

1 ポスター、チラシ	63 件	7.6%
2 自治会の回覧	29 件	3.5%
3 勤務先の回覧	75 件	9.1%
4 県・市広報誌	88 件	10.6%
5 新聞、テレビ、ラジオニュース	47 件	5.7%
6 メールやTwitterなどSNS	651 件	78.6%
7 家族、知人から聞いて	21 件	2.5%
8 県・市ホームページ	91 件	11.0%



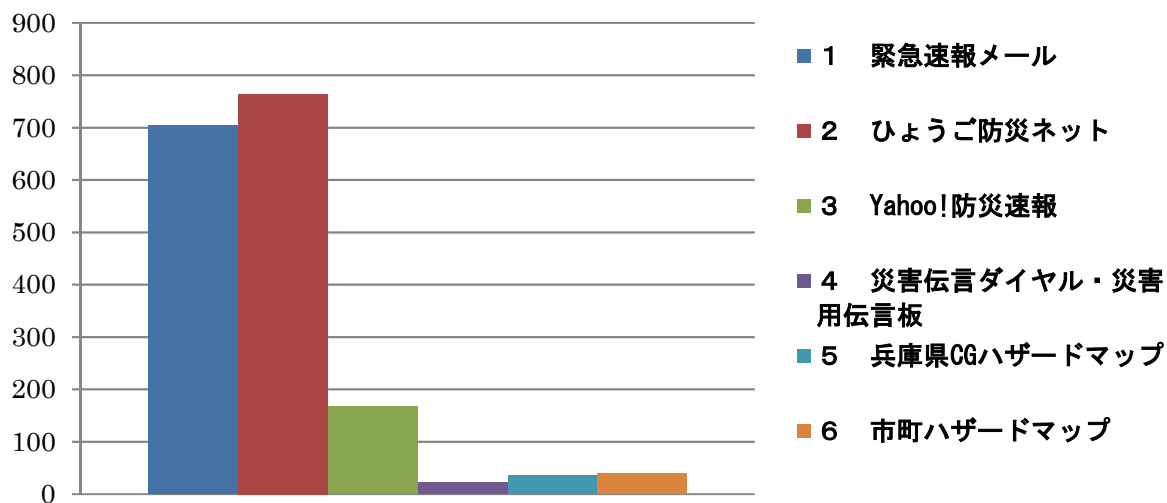
【問3】 訓練の時間(午前10時00分)に何をされておりましたか。

1 勤務中	428 件	46.0%
2 授業中	13 件	1.4%
3 外出中	143 件	15.4%
4 在宅中	311 件	33.4%
その他	36 件	3.9%
	入院中 等	



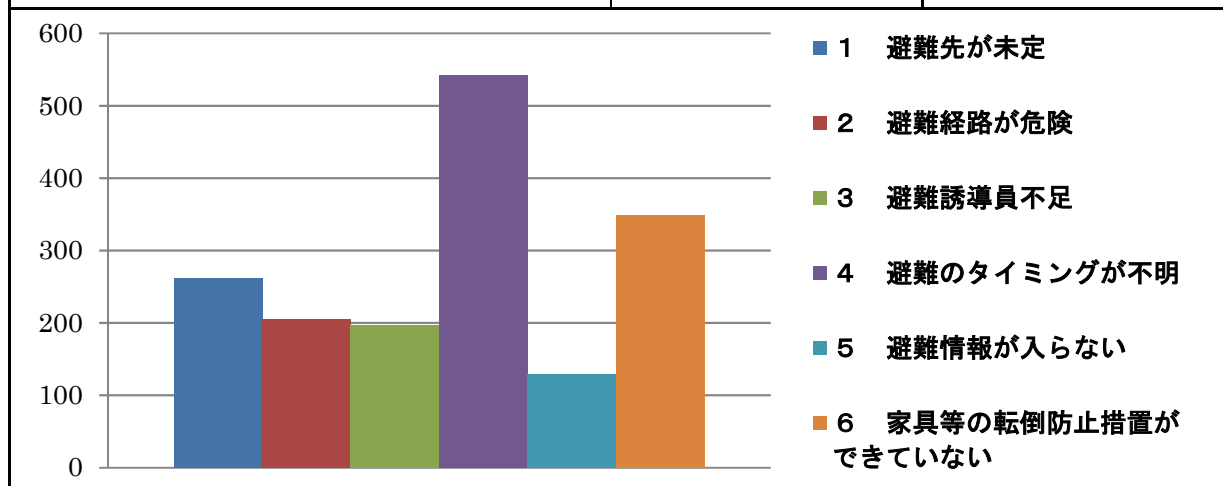
【問4】 11月5日には、スマートフォンなどの携帯端末を利用して以下の防災情報の提供を行いました。実際に体験(受信含む)したものを教えてください。(複数選択可)

1 緊急速報メール	704 件	75.6%
2 ひょうご防災ネット	764 件	82.1%
3 Yahoo!防災速報	167 件	17.9%
4 災害伝言ダイヤル・災害用伝言板	22 件	2.4%
5 兵庫県CGハザードマップ	35 件	3.8%
6 市町ハザードマップ	39 件	4.2%



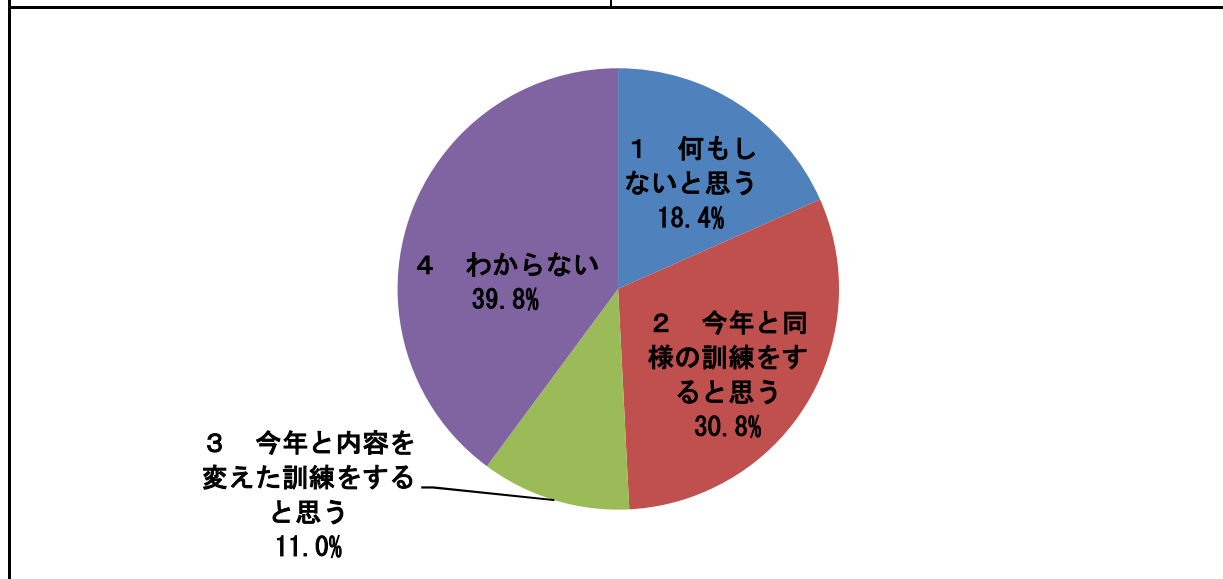
【問5】あなたが感じている南海トラフ地震発生時の課題を教えてください。
(複数選択可)

1 避難先が未定	262 件	28.1%
2 避難経路が危険	205 件	22.0%
3 避難誘導員不足	196 件	21.1%
4 避難のタイミングが不明	542 件	58.2%
5 避難情報が入らない	129 件	13.9%
6 家具等の転倒防止措置ができていない	349 件	37.5%



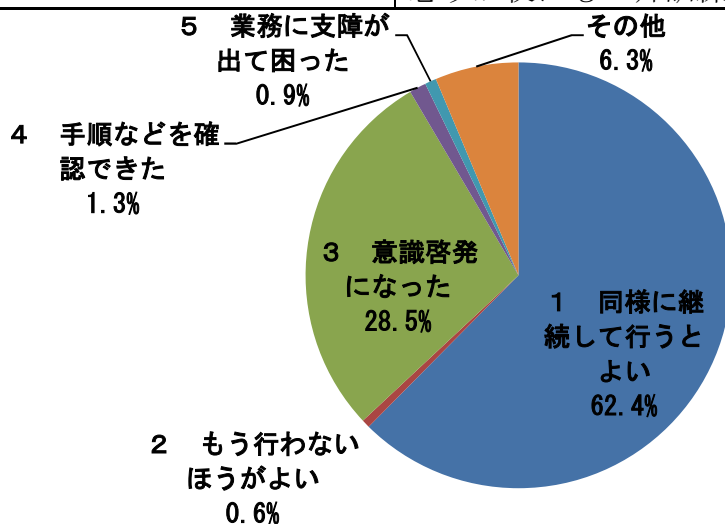
【問6】来年も同様の一斉訓練があれば、何らかの取り組みをされると思いますか。

1 何もしないと思う	171 件
2 今年と同様の訓練をすると思う	287 件
3 今年と内容を変えた訓練をすると思う	102 件
4 わからない	371 件



【問7】 こうした一斉訓練に対するご意見があれば教えてください。

1 同様に継続して行うとよい	581 件
2 もう行わないほうがよい	6 件
3 意識啓発になった	265 件
4 手順などを確認できた	12 件
5 業務に支障が出て困った	8 件
その他	59 件
	正直、何をすればいいのかわからない
	もっと広報してほしい
	まわりに知らない人が多過ぎた
	アラームが鳴るが自分の会社又は身近な場所で訓練をしている様子が見られなかった
	他の時もだがアラームが鳴るだけで勿体ない
	近年の災害を思うと企業、学校、自治体での訓練を義務化にしても良いくらいだと思う
	もっと頻度を上げた方がいい。一斉訓練の間隔を狭め、訓練を体に覚えさせることが大事
	その中で、改善するところは改善しながら継続していき災害時に備える
	地域での取り組みを知らない（訓練時にどこかへ集まる等）何かやっているのか？
今回に限らず、近くの小学校の防災の放送がほとんど聞こえない。知っていて耳をすませて、何か知っているかなあ程度	
このアンケートが何にどの様に生かされるかわからないが、フィードバックをしっかりしてほしい	
同じ訓練なので慣れてきた感があることに危機感がある	
今のままではあまり意味がないように思う。具体的な行動につながる促しが必要	
夜に地震が来たらと思うと怖いので、大変だとは思いますが夜にも一斉訓練をやるべき	



【その他意見】※主な意見を抜粋

- ・周りで災害が起きているが、その時は大変だと思うが、少し時間が過ぎると意識が薄れる時が怖いと思う。意識は必要だと思う。
- ・自宅は津波の危険は全くないが、海岸沿いの町に出掛けたり、山陽本線などを利用中なら、どう避難するか戸惑うと思う。
- ・訓練結果、反省点などをフィードバックしていただきたい。
- ・県、市町村、自治会、子供会、老人会と全てが一丸となって半ば強制的な出席を促すくらいの活動を希望。
- ・防災スピーカーからの放送内容が毎回聞き取れない。いざという時、放送内容が分からないことに不安を感じている。
- ・訓練と言われても、メールが鳴るかどうかの確認はできたが、それからどういう事をすればよかったのかわからない。
- ・自宅にいても実行しない人がいると思うので、その人たちへの行動促進は必要ではないかと思う。
- ・実感がない、危機感がない。外にも出なかった。行動するように啓発が必要。
- ・避難方法や避難先について考えないと行けないのですが、訓練と分かっているのでそのまま仕事を続けていることが多い。
- ・仕事中なのでうるさいだけで意味はない。
- ・非常に大切だが告知が全く足りていないと感じる。
- ・アラームに危機感がない。
- ・平日昼間と言うこともあり家族は各々職場学校とバラバラなので、家族が在宅している休日等でも訓練がされれば良い。
- ・訓練に慣れっこになるのが一番怖い。本当は訓練も事前通知なしでするべきではないか。
- ・こういうことは参加者の多少で成果を測る向きがあるが、大切なことだと思うなら、たとえ参加者が少ない年があっても、ずっと続けるべき。
- ・駅のアナウンスや、TVなどの字幕なども併せて送信できれば、よりよい訓練になると思う。
- ・阪神大震災を経験したが、結局他人事。経験した者しかわからない。突然の地震津波に対応できるかどうか不安。もっと伝わるような訓練ができればいいと思う。
- ・日頃より危機感を持って訓練の必要性を強く感じてもらうことが大切。
多くの人が参加する市の行事、学校の参観日や各地区の体育祭などの行事で楽しく実践できるような方法はないのだろうか。
- ・実際に起こった場合の事を考えるともっと訓練が必要だと思う。住民が今の態勢では大きな混乱が容易に予想される。
- ・連休明けの実施は、時間的な余裕がなく、準備等の制約もあるため、やめて欲しい
- ・必要性は理解するが、有事にどこまで対応できるか不安。
- ・津波情報が流れて、現実、家族と一緒にいない時、職場、学校など避難場所を決めていても、交通機関の問題で、家族と出会えるか心配。
- ・地域差が大きく出たと思う。被害想定の高い場所では、避難訓練の意識がない。また事業者としての参加がない場合は、従業員は参加できない。